

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	44%	56%		人数が多いと少し狭いと感じる時がある。 学校机の配置などを考えながら工夫はしているが、状況に適切かどうかしっかりと考える必要がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	56%	44%		日による。児童の特性と個別にサポートが必要な児童が多いときは、人員を満たしていても足りないかなと思う時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	56%	33%	11%	事業所内のトイレに手すりはついているが、ビル全体のバリアフリー化は進んでいない。下の階の塾の生徒ではあるが、車いすの方の配慮が少ないと感じる。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	67%	33%		月の終わりが次月の初めにイベント等の振り返りを入れた方がいいと思う。（良かった点・改善点等）
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89%	11%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	89%	11%		HPを確認していないのでわかりません (パート)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	44%	56%		・療育部分は改善、発展できているように感じられる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78%	22%		月に2回会社全体での研修会を実施している。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	78%	11%	11%	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%	22%	11%	標準化されたアセスメントツールは利用していないが、常にLINEを活用して情報共有を行っている。また、毎週事例検討会議を実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	78%	22%		毎週社員間で会議を行い、イベントの詳細等についての話し合いを実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	33%		様々なイベントを計画し、実施している。 固定化、マンネリ化にならないよう工夫はしているが、児童たちのニーズの幅が広い場合に少し息詰まる感じがある。児童からもやりたいイベントを聞き、毎月のイベント表に反映している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	89%		11%	

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%		11%	利用日によって児童の特性に偏りがあるため、それぞれのニーズに合わせた活動を取り入れて計画を作成するようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	56%	34%	10%	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	56%	33%	11%	気づいたことに関してはすぐにLINEで共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	33%		正しく記録が取れているか不安ではあるが、事実を記録に残すようには努力している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	89%	11%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	56%	11%	33%	よくわかりません（パート）
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	78%	22%		基本的に児童管が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	67%	33%		・学校ファックスを送り細かな時間を共有している。下校時間の変更は学校から連絡を頂いたりこちらから連絡を入れ、トラブルがないように連絡を取り合っている。
	22	（医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	43%	43%	14%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	78%	22%		児童管が会議に参加している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	78%	22%		会議の場で情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%	67%		コロナ禍により、全員を参加させられていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33%	25%	42%	ビル内の塾生と関わる機会はあるが、外部と関わる機会が少ないため、関わる機会を増やしていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		22%	78%	時間によって参加が難しいが、調整して参加できるようにしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	92%	8%		送迎時の申し送り時やLINEや電話を通じて常に情報共有を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	54%	26%	20%		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	67%	33%		契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	67%	33%			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		44%	56%		コロナ禍により、実施できていなかったが、今後は計画を立てて実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89%	11%			全て児発官が対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	89%	11%			LINEやブログを活用し発信している。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	91%	9%			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	92%	8%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		44%	56%		コロナ禍により実施できていないが、今後は計画を立てて実施していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	56%	24%	20%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	78%	22%			今後の対策として事情所内で毎月避難訓練を実施する予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	89%		11%		会社内全体で研修を実施している。コロナも収まりつつあるので、外部研修にも参加していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	78%	22%			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	89%		11%		細かく確認している。当日のおやつ内容の成分表の確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	89%	11%			